

大磯町がチャレンジデー 2018に参加します!

5月30日(水)
に身体を動かそう!



チャレンジデーとは?

毎年5月の最終水曜日午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の「参加率(%)」を人口規模がほぼ同じ自治体と競い合う住民総参加型スポーツイベントです。

敗れた自治体は、対戦自治体の健闘をたたえ、対戦自治体旗を1週間庁舎に掲揚するというユニークなルールが決められています。

身体を動かすことなら何でもOK!

チャレンジデーへの参加は、スポーツ活動、ウォーキングや

通勤、通学(徒歩、自転車)、自宅などの掃除、料理、洗濯、買い物等の家事一般など、15分以上身体を動かすことであれば、何でもOKです。「チャレンジデー」当日は「いつでもどこでも・どなたでも」参加できます。

身体を動かしたら報告を!

「参加率」を集計するため、15分以上身体を動かしたら、報告が必要です。参加の報告は、町内公共施設やコンビニ・スーパーの店舗に設置する参加報告回収箱に投函、また、電話やFAXでも受け付けます。

実施イベントプログラム

チャレンジデーの参加がひろがるよう、メイン会場となる大磯運動公園において実施する、各種スポーツイベントプログラムを提供していきます。
※チャレンジデーイベントプログラムは、広報5月号と一緒に配布します。

対戦自治体

対戦自治体は「沖縄県石垣市」に決定しました!石垣市は今年で4回目の参加となる強豪ですが、力を併せて頑張りましょう!



「チャレンジデー」は、公益財団法人 笹川スポーツ財団が主催する住民総参加型スポーツイベントです。

☎スポーツ健康課

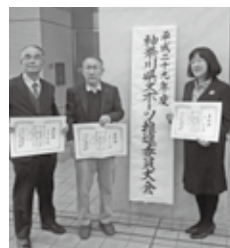
☎内線324

平成29年度スポーツ推進委員協議会表彰

全国スポーツ推進委員協議会茨城県大会において多年にわたる地域のスポーツ振興に努められた功績により、曾我由紀夫さん(石神台)が全国スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞されました。

また、山本勝己さん(高麗)、伴紀子さん(南下町)、守屋正三さん(黒岩)が神奈川県スポーツ推進委員協議会表彰を受賞されました。

☎スポーツ健康課 ☎内線324



左から、山本さん、守屋さん、伴さん



曾我さん

2020年に東京で開催される、オリンピック・パラリンピック。開会式までは846日です。(4月1日現在)町では、県、小田原市、箱根町、星槎グループとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京2020大会)の事前キャンプの協定を結んでいます。協定の相手国は、北アフリカのエリトリア国と、南アジアのブータン王国です。

両国が事前キャンプを行う際に協力するだけでなく、この協定をきっかけとした交流活動を進めています。

すでに、町内にある星槎グループの湘南大磯キャンパスには留学生が滞在し、勉学や練習に励む傍ら、町内の子どもたちとの交流なども行っています。

東京2020大会までの約2年間、選手を応援するとともに、エリトリア、ブータンへの理解を深めるための活動に取り組んでいきます。

※この連載は、東京2020大会開催まで協定締結国の紹介や、交流活動の紹介等を掲載します。

☎政策課 ☎内線205

GO TO
東京オリ・パラ
2020 Vol. 1

オリンピック
パラリンピック